

# 弥富駅周辺の課題に対応するため、交通結節点機能の強化や踏切対策およびバリアフリー化に向けて、自由通路整備に取り組みます。

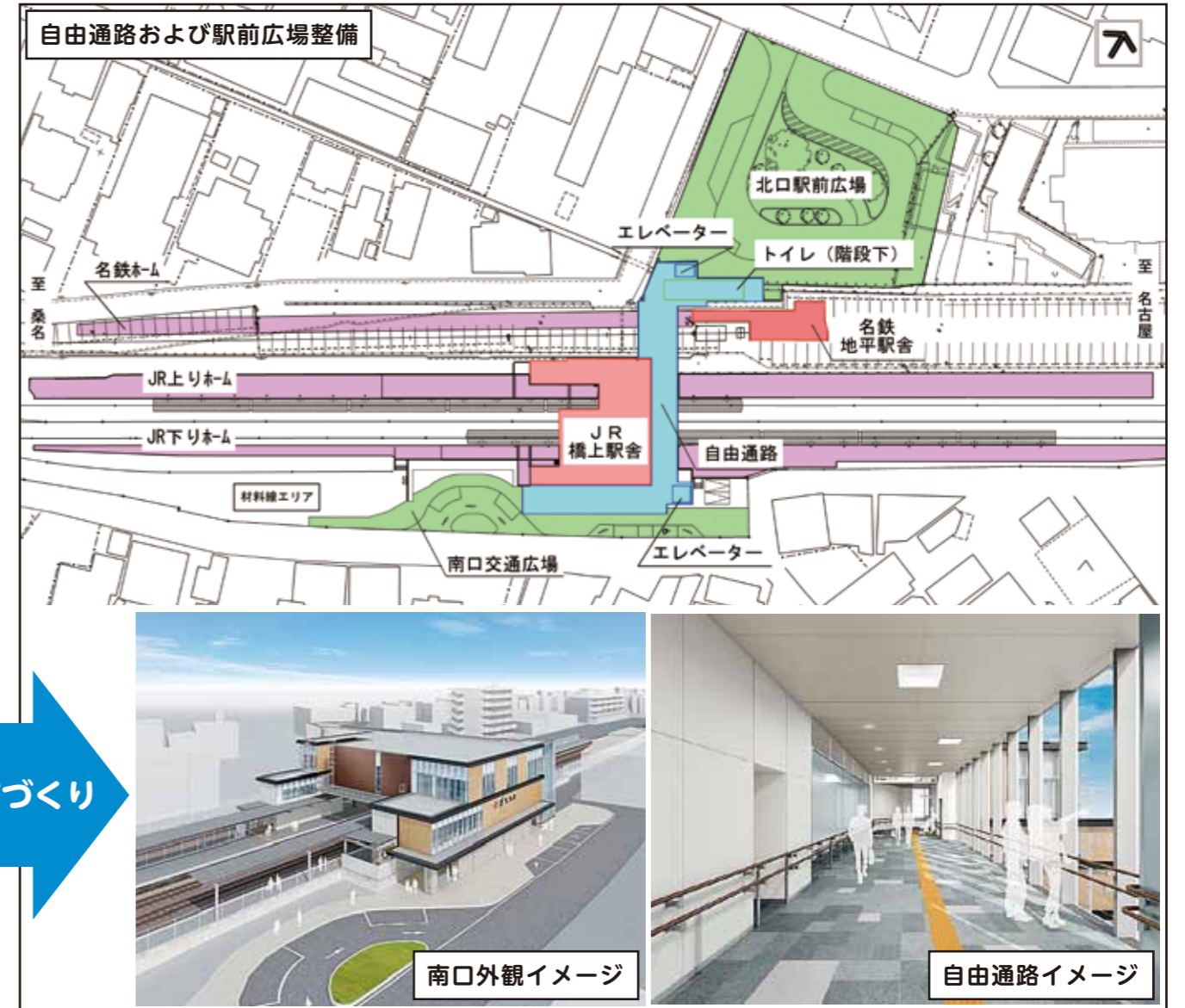
## 弥富駅周辺地区の現状と課題

- JR関西本線、名鉄尾西線、近鉄名古屋線により、地域が南北に分断されているため、北側地区からのアクセスを始めとする交通が限定的で不便
- 弥富駅周辺では幅の狭い道路が多く、歩道も未整備のままとなっており、踏切道では歩行者、自転車、自動車が混雑し、交通誘導員を配置しなければならないほど危険
- 通勤・通学する駅利用者のほかに、送迎車両や通過交通が集中し、朝夕のラッシュ時には各所で渋滞が発生

詳しくはこちら



安全で快適な 駅前づくり



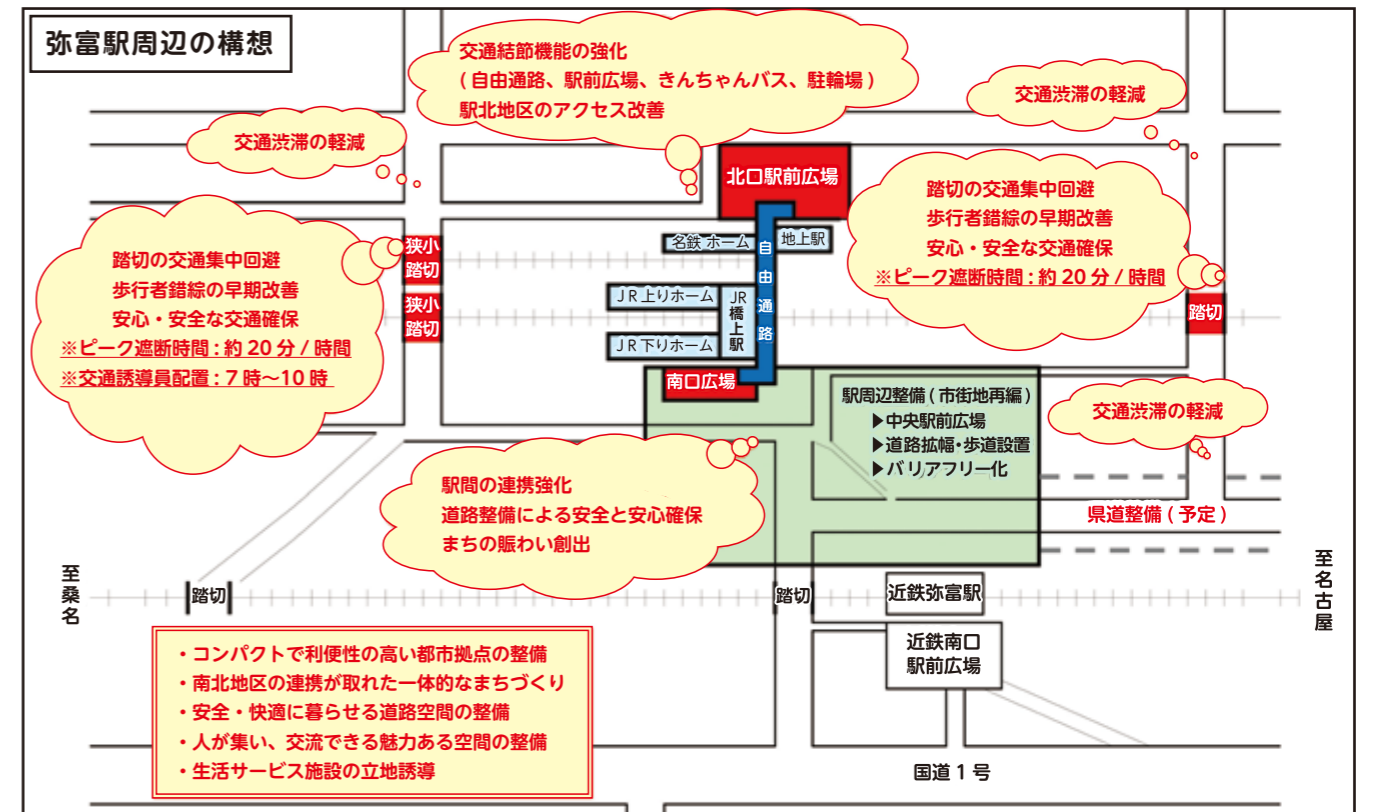
## これまでに検討されてきた経緯

- ・昭和 25 年 近鉄、JR、名鉄を駅前広場で結ぶ案の検討を実施(～昭和 53 年頃)
- ・昭和 54 年 駅周辺地区の整備構想を作成し、協議・検討を開始
- ・昭和 62 年 駅周辺土地区画整理事業(駅北・駅中・駅南の 3 地区 約 25ha)の基本計画を作成
- ・平成 14 年 土地区画整理事業のほかに道路整備を基本とした整備も含めて検討(～平成 16 年)
- ・平成 18 年 弥富町と十四山村が町村合併
- ・平成 21 年 第 1 次弥富市総合計画、弥富市都市計画マスタープランを策定(当事業を主要施策に位置付け)
- ・平成 22 年 弥富駅周辺整備基本構想を策定し、JR 名鉄弥富駅自由通路整備事業の検討を開始
- ・平成 26 年 第 1 次弥富市総合計画(後期基本計画)を受けて、関係事業者と協議を再開
- ・平成 28 年 施政方針で自由通路および橋上駅舎化事業の着手を公表
- ・平成 29 年 自由通路および橋上駅舎化に関する調査設計を実施(～令和元年)
- ・平成 31 年 第 2 次弥富市総合計画、弥富市都市計画マスタープランを策定(当事業を主要施策に位置付け)
- ・令和 3 年 JR 名鉄弥富駅自由通路および橋上駅舎化事業に関する覚書を締結

## 弥富駅周辺地区のまちづくり方針

積年の課題となっている南北地区の分断、東西にある踏切道の安全確保、駅周辺地区のバリアフリー化に向けて、整備効果の発現が早い自由通路整備事業を実施し、東西踏切道の横断交通量を減少させ、周辺交通の安全性と利便性を向上させます。

自由通路と北口駅前広場の整備により、交通結節点機能の強化を図った上で、JR 名鉄弥富駅と近鉄弥富駅間の連携およびバリアフリー化の強化を駅周辺まちづくり事業や県道整備事業により実施します。



- ・コンパクトで利便性の高い都市拠点の整備
- ・南北地区の連携が取れた一体的なまちづくり
- ・安全・快適に暮らせる道路空間の整備
- ・人が集い、交流できる魅力ある空間の整備
- ・生活サービス施設の立地誘導